

2010（平成22）年度 日本英文学会九州支部評議員会 議事録

（文責：齊藤、木下）

日時：2010（平成22）年 10月 30 日（土）午前10時30分から正午まで

場所：九州大学（箱崎文系キャンパス） 文学部棟 4階 文学部会議室

出席者：29 名（評議員および編集委員[支部長含む]25名＋監査1名＋事務局員3名）

議長：木下善貞 支部長

記録：齊藤園子（事務局）

議題1．活動報告

支部長より過去1年間の主な活動について報告があった。『九州英文学研究』（支部統合26号）の発送。投稿論文審査の結果、7月31日編集委員会を開催し、8本の採用を決定。第63回支部大会開催（於：九州大学箱崎キャンパス。）来年度日本英文学会全国大会の会場校が北九州市立大学に決定した件が報告された。

議題2．会計報告

事務局より2009（平成21）年度の会計報告がなされた。監査の江口雅子先生による会計監査確認の報告がなされた後、会計報告が承認された。

議題3．次年度開催校について

第64回支部大会は大分大学で開催されることが承認され、開催校評議員の松田秀明先生代理の園井千音先生より挨拶があった。

議題4．次期事務局および支部長について

2011年3月末日をもって事務局が北九州市立大学から九州大学（伊都キャンパス）に交代することが決定した。新支部長には同大学の太田一昭先生が選出され承認された。

議題5．本部支部一体化にともなう諸問題について

本部支部一体化にともなう諸問題について協議された。

「会員規定」については、第1項に「英語英米文学またはその」と規定されているが、きちんと「英米文学・英語学・英語教育」とすべきとの意見があった。

「役員規定」、「九州支部規約改正」、「九州支部理事選挙規定」、「2010年度投票手続き」、「九州支部振興基金」の設置が承認された。

九州支部振興基金の運用に基づく「日本英文学会九州支部年間優秀論文賞」については編集委員会の決定が承認された。

「本部賞規定案」が承認された。

他支部での発表・投稿に関する方針が協議の上、「投稿論文は既刊のもの、現在審査中のものであってはならない」という項目が必要であるとされた。支部委員の規定では「支部委員は原則として全員が当該支部所属でなければならない」と「原則として」を入れるよう決定された。

学会費については学生会員の6千円はやはり高すぎる。専任を持たない人など会費は細分化して設定すべきとの提案があり本部にも報告することになった。

全国大会における支部企画について議論は先送りされた。

支部大会統合プログラムについては、印刷費削減をめざし九州支部の統合プログラム参加が確認された。

2011年度より本部から支部に支部事業費補助のために送られる60万円の使途の名目についても了承された。

レポジトリの転載については無料化を提案すべしとの案が報告された。